

5月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



5/13「感謝のこころを表現する」というテーマで隊集会を行いました。まずは

いつも使っている10円玉を公園

の葉っぱでピカピカに磨きました。磨いた不思議な葉っぱはカタバミという草です。また、母の日にちなんで、お母さんへのプレゼント「手形のフレーム」を作りました。そのプレゼントにはお手伝い券も添えて。後日談、そのお手伝い券を使ってお家で手伝いをするようになったという話も聞けました。



5/20 新緑の狭山公園にハイキングに出かけました。自然のものを見るアイテムに「狭山ビンゴ」を使いました。丸い葉っぱや赤い実、鳥の落とし物・・・いろいろな視点で公園を満喫しました。その中で何種類もの鳥の鳴き声を聞いて、たくさんの草花を見て、草ぶえを吹きました。小さな虫たちにも会えました。特にテントウムシやバッタはたくさんいました。そして最後に歩いた多摩湖の堤防から見える景色は圧巻でした。



カブ(CS)隊

5/13 組集会をしました。カブスカウトのハイキングで使う追跡サインについて説明を受けた後、もみじ山公園の中を本物の追跡サインを探して歩きました。その後は自分たちの組だけの追跡サイン「この先5mに宝物あり」というサインを作りました。次回のハイキングではどんな宝物を見つけるのでしょうか。後半はロープ結びの練習をしました。



り着きました。公園にはアスレチックが有り、お昼ごはんの後は、めいめい種目にチャレンジしました。午前中は涼しめでしたが、午後から晴天になり、帰り道はバテバテでした。



5/20 狭山丘陵にハイキングに出かけました。ビーバー隊とは別の場所です。組集会で学んだ追跡サインを追って目的地まで出発です。と、その前に出発の順番決め！一本のロープにみんなで協力して「8の字結び」を12個早く作った組から出発です。あれ？「8の字結び」ってどんなのだった？この前集会でやったよね？みんなで思い出しながら課題を何とかクリアして順々に出発していきました。住宅街、林の中を通り、途中で宝物を探し、目的地の公園にたどり着きました。



ボーイ(BS)隊



5/4-6 船橋の青少年キャンプ場でウェルカムキャンプを行いました。新入隊のスカウト3名を迎えて、先輩スカウトはお手本になって、また指導も丁寧に実践しました。初日は設営と野営生活の向上を目指し、二日目は地図読みとハイキングに出かけて2級科目に向けた取り組みを行いました。二日目の夜はキャンプファイヤを行いました。点火はスカウト技能の「マッチ2本以内で火を付ける」に則って、なんと今年の新入スカウトが見事1本で点火することができました。3日目は手旗です。新課程では2級から手旗を送受信することが要求されています。天候にも恵まれ充実したウェルカムキャンプでした。



5/13 班会議を行い、ウェルカムキャンプの振り返りを行いました。キャンプでは今一つ覚えられなかった手旗も繰り返して判読練習しました。

5/20 中野区主催の障害者のための「ふれあい運動会」の奉仕をしました。日陰に入ると肌寒いくらいの気温でも快晴に恵まれて奉仕に励みました。参加者の車いす誘導に始まり、プラカード持ち、模範演技、出場者の案内、ゴールテープなど大忙しでしたが、毎年恒例のパン食い競争にも参加して、スカウト自身も大いに楽しむことができました。



ベンチャー(VS)隊



5/4-6・13・20 JL(ジュニアリーダー)奉仕を行いました。Sくんビーバー隊、Tくんカブ隊、Fくんはボーイ隊です。

ローバー(RS)隊



5/19-20 NさんとMさんが、杉並区の大宮八幡スカウトの杜で行われたあすなろ地区ローバーの新歓キャンプに参加しました。キャンプの目標は、「上進スカウトの歓迎と、スカウトスキルを磨くこと」。日中に一部のスカウトが葛西海浜公園で潮干狩りを行い、収穫を持ってスカウトの杜へ。夜は貝を使った料理を食べながら、自己紹介や各団の活動について話をしました。また、ボーイスカウトの問題点や課題、今後ローバーとしてどうあるべきか、などについても遅くまで語り合い、



地区ローバーとしての連帯感を高めました。

6月のスカウト進歩情報

CS : R. K. さん チャレンジ章「画家」
M. O. さん チャレンジ章「音楽家」
「料理家」

ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

6/3 全隊で募金活動を行いました。この時期は毎年、ユニセフ募金を行っています。

中野駅前の北口広場、および南口改札近くで募金活動を行うには、敷地の持ち主である JR と道路を管理する警察の両方に許諾を得る必要があります。JR から許可の下りた駅北口周辺と（南口周辺は不可）、警察から許可を得た JR 管轄外の駅周辺道路、合計5か所でビーバー隊、カブ隊4チームにボーイ隊やベンチャー隊のお兄さんお姉さんがついて、街ゆく人々に募金を呼びかけました。スカウトたちが大きな声を出して頑張ってくれたところ、なんと1万円札を入れてくださる人もいて、合計で、75,407円が集まりました。さっそくユニセフ協会に送金しました。

♪♪♪



- * 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>
- * Facebook ページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。
<https://www.facebook.com/nakano8/>

リーダーの活動

- 4/28- WB 研修所
- 5/1 スカウトコース
- 5/7 BS 講習会奉仕打合せ
- 5/12 地区円卓会議
- 5/13 団会議
- 5/19 BS 講習会奉仕打合せ
- 5/23 17NSJ 隊長会議
- 5/24 地区委員会
- 5/27 ボーイスカウト講習会
- 5/27 BS 講習会奉仕
- 5/27 団会議
- 5/28 各種委員会・コミ会議

スカウト互知識

「スカウト運動の始まり」

ボーイスカウトは、イギリスの退役軍人ロバート・ベーデン＝パウエル卿（B-P）が、イギリスの将来を託すことの出来る青少年の健全育成を目指して創設した青少年運動です。実社会で先駆的な立場に立てるように、身体を実際に動かし、形に囚われない戸外活動を通じて心身ともに健全な青少年の育成と教育を目的としています。

陸軍軍人時代、B-P は戦時に街の伝令部隊の少年たちと一緒にその街を守り抜いた経験から、少年でも任務と責任が与えられれば大人にも負けない働きをすることを目の当たりにしました。

その後イギリスに帰った B-P は、以前に自分が書いた『斥候の手引き(Aids to Scouting for N.-C.Os and Men)』という軍人向けの本が、多くの学校で教育教材として使用されていることを知ります。しかしその本は元々大人向けなので、少年向けに書きなおせばさらに彼らのためになると思い、青少年教育に関する研究を始めました。

1907年、それまでの研究を実証するために、B-P は8月1日から8日の日程でイギリスのブラウンシー島に20名の少年たちを集めて実験キャンプを行い、それを基に、1908年に『スカウティング・フォア・ボーイズ』(Scouting for Boys「少年のための斥候術」)という本を刊行しました。この本が大きな反響を呼び、本を読んだ少年たちは自発的に組織(Patrol/班)を形成して善行を始めました。これがボーイスカウト運動の原点・発祥とされています。

この本は現在でも、ボーイ隊の活動でかせかない本として使用されています(安心して下さい。もちろん日本語版です！)